

発音が不明瞭なCくん



2歳児より入所したCくん。視線がなかなか合わず、名前を呼ばれても遊びに集中していたり、どこが違う方向を向いていて反応が無いことが多い。小さい時から抱っこされることを好まず、抱いても体が添わなかつたと母親は話している。保育士や友だちと一緒に遊ぶことを嫌がることはほとんどないが、集団遊びなどでは手をつなぐことを極度に嫌がる。

単語は少し話すようになってきているが、不明瞭なので友だちとのコミュニケーションが取りにくい。保育士が話しかけるとエコラリアで返ってくることが多く、発語は「あんぱまん」は「あんまん」、「だんごむし」は「・・・(あ〜)むし」になる。

外遊びでは砂がつくのを嫌がり砂遊びはしない。また、のりの感触や絵の具なども手や服につくと、大泣きして気持ちが大大きく乱れる。きれいにすると落ちつきを取り戻す。

☆好きな遊びでのやりとりや一緒に絵本を見るなどの中で、こどもの言葉を引き出すようにしますが、やりとりを楽しむことを大切に、言葉が不明瞭なところは言い直すことを強制せず、保育士がゆっくり丁寧に、正しい言葉やイントネーションを知らせていきます。

☆日頃から、挨拶や手遊びなどの楽しい雰囲気の中で、友だちとふれ合う体験を重ねましょう。

☆嫌がることは無理強いせずに、別の関わり方や方法を知らせていくことも大切です。

保育士の気づき (気になる姿)

- 生活や遊びの中で話したい気持ちを持っているが、発音が不明瞭だったり「おすすり」が「おすくり」になるなど聞きとりにくい。また、発語は単語が中心である。
- 友だちとの遊びの中で、言葉でうまく言えないために、わかってもらえなかつたり、トラブルになることが増えてきた。
- ふれあい遊びや集団遊びの中で手をつなぐのを嫌がる姿や、感覚過敏のある姿がある。

保育の中で工夫したこと (手立て)

- ◇気持ちに寄り添い、場面や行動に合った言葉を保育士がゆっくり・はつきりと話しかけたり、代弁して知らせていく。
- ◇保育士は正しい言葉やイントネーションで言葉を返すように心がける。
- ◇こどもの一語文を二語文で返すように意識する。
- ◇静かな場所（聞きとりやすい）で絵本を一緒に見て、言葉を引き出す。
- ◇手をつなぐことを無理強いせず、物（ハンカチ・人形など）を媒介としてつなぎ、遊びの楽しさを知らせていく。また、のりを使う時はスティックのりを使うなど、直接手につかないようにする。

こどもの反応・変化

全体指示には戸惑う姿が見られるが「外に遊びに行くから、先にトイレに行こうね。」「おもちゃを片づけて、おやつを食べるよ。」と、そばで個別に声をかけて次の行動を知らせると、理解して自分で行動するようになる。また、視線が合うようになり、保育士の言葉を復唱したり、自分から話しかけてくる姿が増えた。友だちの様子を見て、ふれあい遊びにも参加するようになり、物を媒介にすることで、誰とも手をつなげるようになってきている。また、保育士が仲立ちすると、友だちと「タッチ!」と言って、手と手を合わせて喜び合う姿も見られるようになる。

乳児期における『気になることども』に関する気づきの観察事項 (チェックリスト)

2 歳児 名前 C

年 月 日

	項目	チェック欄
生活面	▪ 生活習慣全般において、積み重ねることが難しい。	
	▪ 好き嫌いが多く、(食べられるものが少ない、食感覚、色が嫌など)	
	▪ トイレを嫌がる、怖がる。	
	▪ トイレの水や水道の水をよく流す。	
	▪ 気に入った服ばかり着る。	
	▪ ちよっとした汚れが我慢できず、着替える。	
	▪ 布団に入ることには抵抗を示す。(抱かれていないと眠らない)	
	▪ 睡眠のリズムがつきにくい。	
	▪ 汚れた時、ふいてももらったり、洗ってもらったりすることを嫌がる。	
	▪ 抱っこやおんぶで自然に身をゆだねられない。(抱っこを嫌がる)	○
▪ ハイハイにならない。(親指でけられない、いつまでもずりばいになる等)		
▪ かかとをつけずにつま先で歩く。		
▪ 歩き方や身体の動きがぎこちない。 (バランスよく動かせない、階段の上り下り等)		
▪ 両足踏みができない。		
▪ よく転ぶ。		
▪ 手先の動きが不器用である。(積み木を積む、絵本のページをめくる等)		
▪ 粘土やのり等の触感を嫌がる。		
▪ 音など外からの刺激に対して敏感に反応し、注意が散漫になる。		
▪ 物を一列に並べたり、積んだりして遊ぶ。		
▪ 特定のおもちゃで遊び、同じ遊びばかりする。		
▪ 本来のおもちゃの扱いをしない、遊ばない。(物を何でも回す、並べる等)		
▪ サインペン、クレパス等でぐるぐる丸を描けない。(筆圧が弱い)		
▪ ことばや動作のまねをしない。	○	
▪ 人より物に興味を示す。(光る物、回る物、鏡等)		

認知・言語面	行動・社会性・コミュニケーション
▪ 物を渡してお願い (例えば、絵本を持ってきて読んでほしいことを示す等) をすることができない。	
▪ 指差しをしない。	
▪ 意味のあることばをしゃべらない。	
▪ エコロリア (オウム返し) がある。	○
▪ 場に合わないことばやコマースヤルのフレーズを言うことが多い。	
▪ ことばが増えず、語彙が少ない。	
▪ 発音が不明瞭で聞き取りにくい。	○
▪ 単語が中心で 2~3 語文で話せない。	○
▪ 指示の意味がわからない。(ことばの理解が悪いように感じる。)	
▪ 呼びかけに反応しない。	
▪ 視線が合わない。	○
▪ 初めてのことや、初めての場面を嫌がる。	
▪ 落ち着きがない。(常に体のどこかが動いている、椅子に座ることが難しい等)	
▪ 何もなくても、甲高い声や大声を発する。	
▪ 周囲に関心を示さない。	
▪ 表情が乏しい。	
▪ 困った時など、状況にそぐわない言動でその場を逃れる。	
▪ 大人 (母・保育士) への愛着が強すぎる。(弱すぎる)	○
▪ 手をつなぐのを嫌がる。	○
▪ 特定のものにこだわる。	
▪ 気持ちの切り替えが難しい。(何をしても泣きやまない)	
▪ 友だちへの興味、関心が乏しく、一人遊びの方が多。	